

STELLAR LINK

2011 6月号 **vol. 5**


今号の特選情報のキーワードは・・・


『事業継続計画 (BCP)』です





インフィオーラ(花祭り)/イタリア

 事業継続計画 (Business Continuity Plan) とは

 @オフィスの防災対策グッズ
-食料、飲料水等の備蓄

 緊急通報・安否確認システムサービス
-従業員の安否連絡体制の整備

 BCP策定を支援する
次世代バックアップソフト
-同時に被災しない場所にバックアップシステム

 これ、知っているとお得かも！？
-第三回 トナーがなくなった時の応急処置

 『STELLAR LINK展示会 2011 Jun』
開催のご案内

すべてのお客様に信頼されたいよりにされる会社になりたい...

それが私たちステラグループのねがいです。

3月11日に発生いたしました、東北地方太平洋沖地震において東北、関東で、本当にたくさんの方が被災されました。

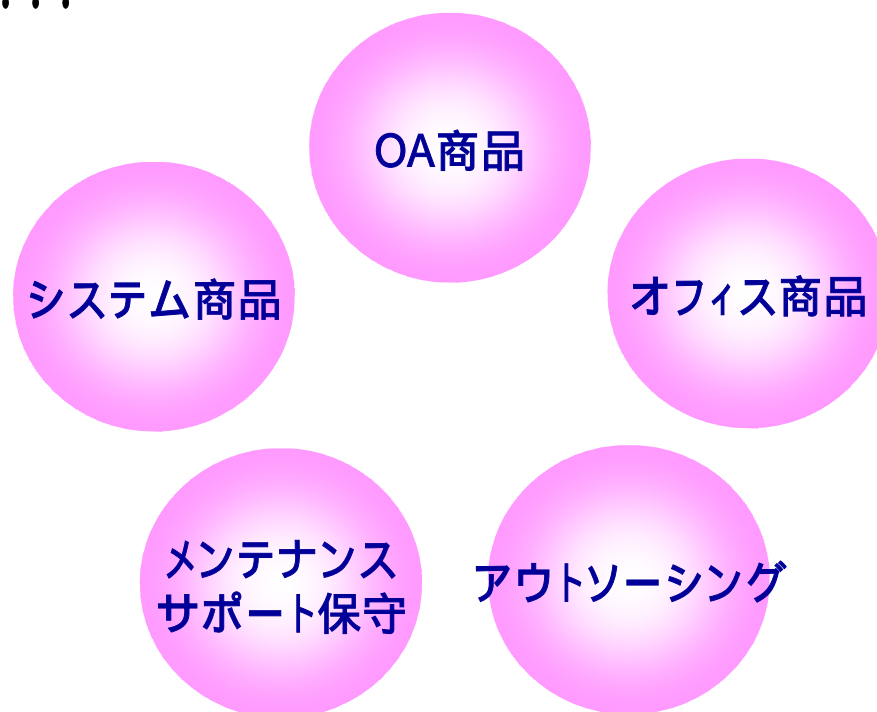
お客さまみなさまにおかれましても、ご家族・ご親戚、お知り合い、お友達のご無事を心より祈念申し上げます。

また、この地震、津波の被害に追い打ちをかけるような福島原発の異常事態に、特に東日本においては
市民生活にも極度な不安が広がっている状況でございます。

今後、物流等において、支障をきたすことがあろうかと存じますが、できるだけお客様にご迷惑とご不便をおかけしないよう、社員一同、全力を尽くしてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

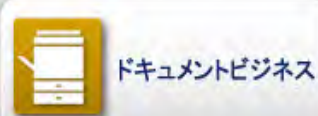
Vol.5は前号に引き続き「事業継続」についてご案内します！

主な営業品目は...



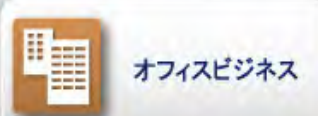
...これらの“**複合**”提案をおまかせください！

ステラグループ株式会社の事業領域



ドキュメントビジネス

複合機の“**有効な使い方**”をご提案いたします！



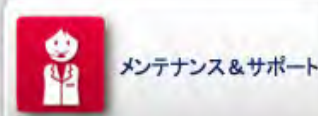
オフィスビジネス

オフィスの“**最適化**”をご提案いたします！



ITビジネス

最適な社内インフラやセキュリティーポリシーの設定・運用まで
“**幅広いソリューション**”をご提案いたします！

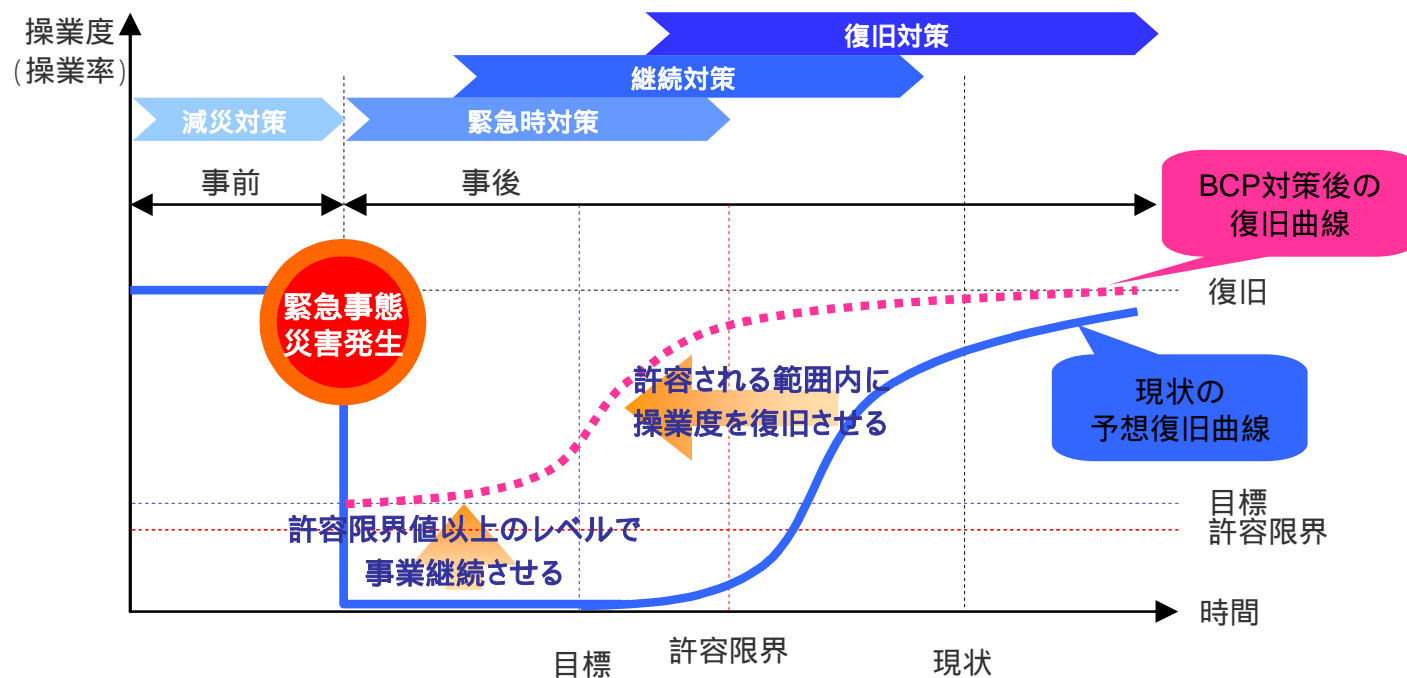


メンテナンス&サポート

他社の機器やネットワークの保守契約などを自由に組み合わせることができる
安心の“**総合サポート**”システムです！

事業継続計画(Business Continuity Plan)とは

自然災害や、火災・停電等の事故、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、“事業資産の損害を最小限にとどめ”つつ、“中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とする”ために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。



事業継続計画(Business Continuity Plan)の必要性は

- ①お客様や従業員の安全の確保
- ②会社の存続
- ③取引先からの要請や信頼の確保
- ④企業価値の向上

では、自然災害(大規模地震)に対してどのような対策が必要でしょうか？

●オフィス・情報システムにおける減災対策

(いかに被害を軽減し、早期の復旧に取りかかる事が出来るか、ということを考え事前に準備しておくことが肝要です)

★食料、飲料水等の備蓄

- ・避難・誘導・救助訓練の実施
- ・オフィスの立地特性に応じた、建物や設備機器等の耐震補強
- ・什器・備品の転倒防止(壁面への固定等)
- ・非常用電源設備の設置
- ・パソコン・OA機器の転倒/滑落防止
- ・情報システム機器の耐震、免震装置の設置
- ・情報システム機器類の無停電電源装置(UPS)の設置

★従業員の安否連絡体制の整備

●バックアップ対策

(重要な拠点や情報システム等が被災することを想定したバックアップ対策をあらかじめ計画し明文化することが大規模地震際には有効です)

★特に重要性の高い業務を支える情報システムについては、同時に被災しない場所にバックアップシステムを整備する

★重要データのバックアップ頻度を明確にし、同時被災しない場所に保存する

- ・通信回線の二重化(異なる通信事業者、経路)を行う
- ・オフィス機能の代替場所や複数の連絡手段、バックアップ用のOA機器などを予め確保しておく
- ・緊急時に業務を行うバックアップ要員を取り決めていく
- ・システムの復旧について体制・要員・手順等を明確にしておく
- ・情報処理を外部へ委託している場合、事前に対応方法等の取決めを行う



次のページから、★マークの対策に関連した製品・サービスをご紹介します

[参考]

内閣府: <http://www.bousai.go.jp/kigyoubousai/jigyou/index.html>
事業継続推進機構: <http://www.bcao.org/index.html>

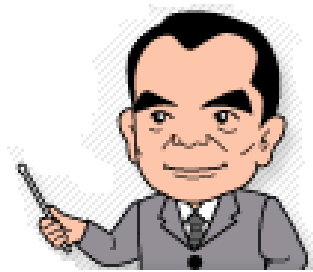
中小企業庁: <http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/>
BCP策定検討会: <http://www.nilim.go.jp/lab/gbg/bcp.html>

@オフィスの防災対策グッズ

食料、飲料水等の備蓄

防災の達人 山村氏監修

防災用品の決定版！からオススメ



山村武彦

過去1,000回を超える防災講演会やマスコミ出演を通じ、防災意識啓発に活躍中。

世界中の災害現地調査は120回以上に及び、防災・危機管理対策の第一人者



実践的防災・危機管理の第一人者である山村武彦氏が長年の活動で培ったノウハウを、100年以上の歴史を持つメーカーコクヨがカタチにした、安心と信頼の防災用品シリーズ。防災対策をしっかりと、企業信頼力を強化。

非常用トイレ(10枚重ねタイプ)

災害時のトイレに必須！100回分の非常用トイレセット



10回分をまとめてセットするため排便袋を毎回取り付ける必要がない



袋を10回分まとめて、あらかじめセット(10回×10セット=100回)個人による袋のかけ忘れを防止するタイプが新登場!



品番	品名	価格
DRK-NT2	非常用品セット(10枚重ねタイプ)	¥13,500(税抜き)

納期・在庫についてはお問合せください

非常用セット(ヘルメットタイプ)

ヘルメットを個人のデスク周りにスッキリ収納できる非常用持出セット！



【セット内容】

シコロ(ヘルメットに付けて首から襟を防御するもの)、防災用救助笛、ライト、マスク、虎の巻、マグネットフック、軍手、ベルト

ヘルメットは含まれません

持出し可能なバックなのでヘルメットと避難用品と一緒に配備できます

品番	品名	価格
DRK-SH1D	非常用品セット<防災の達人>(ヘルメットタイプ)	¥4,050(税抜き)

納期・在庫についてはお問合せください

備蓄ボックス(ストックボックスタイプ)

オフィスでの防災用品の管理に最適！

長期保存物等の備蓄セット保管ボックスです。箱の柄も、片側が赤い「派手面」、反対側がモノクロの「地味面」としてデザインされており、どれくらい目立たせて保管するか、会社の方針で選べるようになっています。最大10kgまでに対応したダンボールで、なんと、分解して組み合わせると敷布団になるように作られています！



品番	品名	価格
DRK-BS1SM	備蓄ボックス<防災の達人>Sタイプ(4個入り)	¥1,700(税抜き)
DRK-BS1M	備蓄ボックス<防災の達人>Mタイプ(4個入り)	¥2,520(税抜き)
DRK-BS1LM	備蓄ボックス<防災の達人>Lタイプ(2個入り)	¥1,530(税抜き)

納期・在庫についてはお問合せください

緊急通報・安否確認システムサービス

従業員の安否連絡体制の整備

緊急通報・安否確認システム

Safetylink 24

セーフティリンク
万一の地震や災害時の
緊急通報・安否確認ソリューション

1 緊急通報・安否確認システムとは

地震などの災害時に、登録ユーザ宛にメールを一斉配信するシステムです。社員の安否と被災状況を迅速に把握すると同時に、家族の安否状況など、Safetylink24では大切な人たちの安否を確認するための有効なソリューションです



2 どうして安否確認システムが必要？

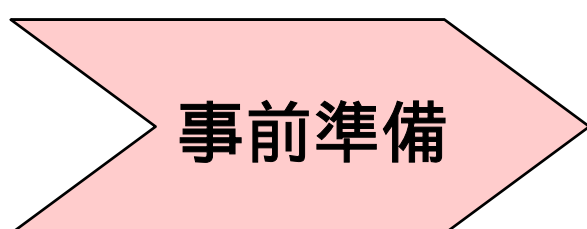
日本は災害立国、地震大国などと言われています。諸外国と比べ、地質、気象などの自然的条件から災害発生率が非常に高い国です。

・活火山の数は世界第2位 ・降雨量は世界第4位 ・マグニチュード8.0以上の大地震の2割が日本で発生

これらの災害に対して企業がどういふ対応をとるかは、今や企業にとっては必要不可欠な「危機管理」であり、対応を誤ればその社会責任が問われる時代です。また、内閣府の策定する災害基本計画には、災害時に企業が果たす役割として以下のことが記されています。

・従業員・顧客の安全確認 ・経済活動の維持 ・地域住民への貢献

3 そのとき企業に求められるものとは



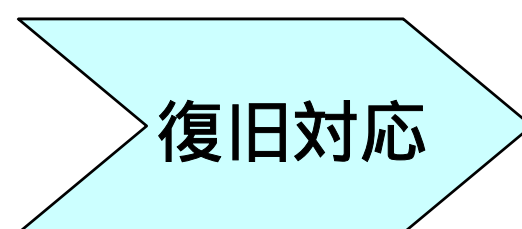
想定されるリスクに対して基本的な方針検討する。

- ・連絡体制と安否確認体制の確立
- ・緊急時対応計画の策定
- ・訓練活動



災害の状況を把握し、救護、支援、避難を誘導する。

- ・安否確認/被害状況の把握/情報収集
- ・避難/救護



復旧活動の決定と平常時の活動へ向けての活動を支援実行する。

- ・復旧活動の策定

青字部分がsafetylink24によって対応可能となります

BCP策定を支援する次世代バックアップソフト

同時に被災しない場所にバックアップシステムを整備

データセンタへの全自動バックアップをソフトウェアで実現！
緊急災害時のデータ管理対策「いつか出来たら...」
といった悩みを解決します

Secure Back 3とは...

Secure Back 3 Standard Edition (セキュアバック 3 スタンダードエディション) は、ソフトをインストールするだけでファイルサーバだけではなく、NAS、社内のクライアントパソコンのバックアップも一元管理し、データセンタ3ヵ所への多重バックアップ環境を構築できる遠隔地リアルタイムバックアップソフトです。

Secure Back 3 Standard Editionをインストールすると自動的にVPN (Secure Back VPN) が構築されるため、新たに回線を引き込んだりVPN装置を用意する必要はなく、ソフトをインストールしたその瞬間から遠隔地へのバックアップが可能になります。またデータセンタへのバックアップは、純国産製品ならではの直観的な管理画面をつかってワンクリックで設定可能です。もし大規模災害が発生したとしても、多重バックアップしているので、BCP (事業継続)に必要な情報資産は即座に復旧可能です。

遠隔地リアルタイムバックアップソフト



社内の情報資産を社外の遠隔地に多重保管！



全国3箇所
 (東京・沖縄・非公開)
 のデータセンタに
 バックアップ！

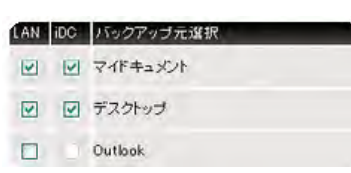
遠隔地のバックアップも容易に集中管理

リアルタイムにバックアップ



更新などでファイルが変化すると、その変化を瞬時に検知してバックアップを実行します。遠隔地にあるデータセンタにもバックアップを行うので、最新データを保管する体制が整えられます。

データセンタへのバックアップはワンクリック



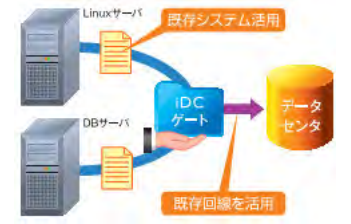
複雑な設置を必要とせず、チェックボックスをONにするだけで、社内のバックアップサーバ+3箇所のデータセンタへの多重バックアップを容易に実現します。

遠隔地へのゲートウェイサーバとしても活用可能



インストールされたバックアップサーバにiDCゲートという共有フォルダを自動生成する機能があります。このiDCゲートフォルダに保存されたファイルは自動的に暗号化されてデータセンタに転送されるのでSecure Back Managerをインストールしたバックアップサーバに保存するだけで遠隔地へのバックアップが可能です。

既存環境を生かした構築が可能



遠隔地多重保管環境の構築は新規設備の導入を必要としません。VPNはソフトウェア単体で構築できるためVPNルータを購入する必要はなく、回線も既存のインターネット回線を使用できます。

これ、知っているとお得かも！？

お得度数 3



第三回 トナーがなくなった時の応急処置

トナーの在庫があると思ったのにうっかり頼み忘れていた、トナーがなくなってきたので急ぎで注文をしたのはいいけれど、印刷したいのにトナー残量が少ないと表示がでている。こんな経験をされたことはないでしょうか？ そんなときは、まずトナーカートリッジを振って頂く事をおすすめします。

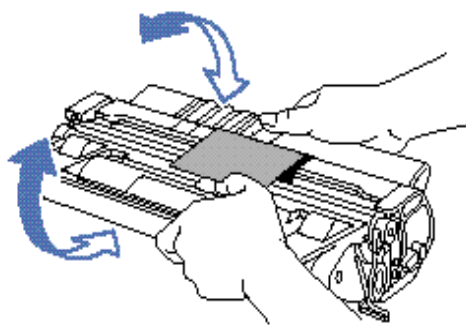
トナーカートリッジを振ることでトナーが均一になり、一時的に印刷できることがあります。

方法も簡単で、トナーカートリッジを平行に持ち上下に5～6回振っていただき機械に戻すだけです。

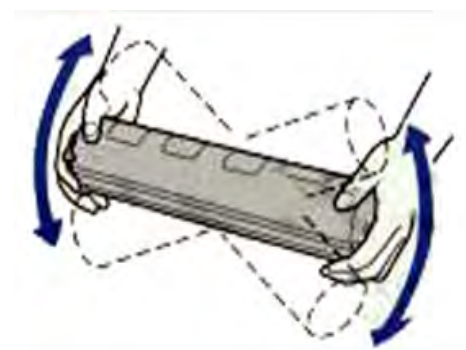
印刷結果にムラや汚れが出た場合にも、トナーカートリッジを振ることで現象が改善される事もありますので、応急処置としてご活用ください。

また、トナー残量がすくなくなったというメッセージが出た場合は、早めのご注文をお願いいたします。

【モノクロ】



【カラー】



ご案内

お客様の声をお聞かせ下さい

この度、お客様への「より質の高いサービス」

を目指し、キヤノン製複写機を

ご愛用のお客様を対象にインターネットによる

アンケートを実施させていただきます。

調査期間

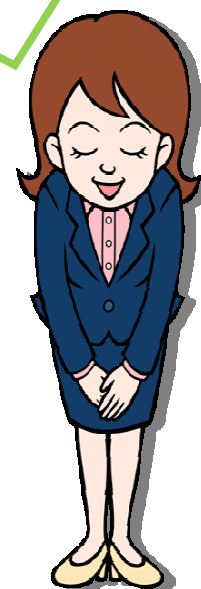
(ご案内ハガキ送付期間:5月31日～9月下旬)

(アンケートサイト設置期間:6月1日～10月31日)

ご多忙の折、恐縮ではございますが

上記のダイレクトメールが届きましたら、

ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



料金別納
郵便



お客様アンケートのお願い

キヤノンマーケティングジャパン株式会社では、ご使用の複写機/コピー機やアフターサービスについて、お客様の評価をお聞かせいただき、より一層のサービス向上につなげるため、インターネットによる「キヤノン複写機/コピー機お客様アンケート」を実施しております。

ご多忙の折、まことに恐縮ではございますが、アンケートにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

東京都港区港南2-16-6

ホームページアドレス <http://canon.jp>

※本案内は、ご使用のキヤノン製複写機の保守契約(MG契約)締結のお客様限定にて発送させていただきます。

詳細は
こちら

アンケートにご協力いただきましたお客様に感謝の意を込めて、抽選でキヤノン製品を進呈します。

抽選で
30名

コンパクトデジタルカメラ
IXY 31S



抽選で
30名



電子辞書
Wordtank Z400

環境配慮型 卓上電卓
TS-1200TG



抽選で
500名



未来につなぐ

ふるさとプロジェクト

キヤノンマーケティングジャパングループでは、お客様、従業員、パートナー企業の皆さまと取組む社会貢献活動「未来につなぐふるさとプロジェクト」を国内の様々な地域で行っています。

この度のアンケートにご回答頂きますと、お客様に代わってキヤノンマーケティングジャパンが「未来につなぐふるさとプロジェクト」へ10円を寄付致します。アンケートへご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

詳細は、ハガキ内面をご覧ください。

■ステラオリジナルフェア『STELLAR LINK展示会 2011 Jun』開催のご案内
～ オフィスワークをよりクリエイティブに変革していただくための手法 ～

見て・触れて・聴いて
そして体験してください！
オフィスワークをより快適にする
ヒントが必ずあります！

開催日時 2011年 6月16日・17日 9:30 ~ 17:30

開催場所 Inaba International 恵比寿ショールーム (東京都渋谷区恵比寿西1-10-11 フジワラビル1F)
http://www.inaba-inter.co.jp/showroom_farme.html

- 開催内容
- 1) 展示コーナー
 - キヤノン・・・コピー複合機の徹底活用
 - RISO・・・印刷物のコスト削減
 - 京セラミタ・・・コスト・耐久性の両立
 - イナバ・・・オフィス什器の体感展示
 - その他・・・様々なオフィス関連商材の展示
 - 2) セミナー
 - 「ドキュメントの電子化！その徹底活用術について」 16日・17日 10:00 ~ 14:30 ~
 - 「オフィスの耐震対策！その現状について」 16日・17日 13:00 ~

STELLAR LINK展示会 2011 Jun 事務局
システム・ソリューション推進部 二島(にしま)宛 TEL:03-3264-7307

■会社概要■

会社名:ステラグループ株式会社

設立:1973年7月

営業拠点 本社

日本橋オフィス

立川オフィス

三鷹オフィス

八王子オフィス

神奈川オフィス

資本金:9,500万円

代表者:代表取締役社長 川井 昇

東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 九段富士ビル4階

東京都中央区日本橋小舟町12番10号 共同ビル堀留1階101号室

東京都立川市柴崎町2丁目3番6号 第一生命ビル3F

東京都武蔵野市中町1丁目9番5号 第一中央ビル3F

東京都八王子市東町9番10号 明治安田生命八王子ビル3階

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目86番1号 関内マークビル2階

■事業内容■

OA機器およびコンピュータ機器の販売とメンテナンス・保守

ネットワークを含む社内システムの設計・構築・運用管理

システム開発

什器備品・消耗品・オフィス家具の販売

デジタルデータ総合出力サービス・クリエイティブワークの企画・制作

人材派遣【(般) 13-01-1334】・アウトソーシングビジネス



■ご挨拶■

お客さま 各位

ステラグループ株式会社 代表取締役社長の川井昇です。

いつも大変お世話になり、誠にありがとうございます。

毎月、お手元にお届けしておりますこの「STELLARLINK」。今回で5号目となりました。

今号は、この度の震災で目の当たりにいたしました「思わぬ大惨事」等に備えるための「事業継続計画」を特集いたしました。お客さまみなさま方のご参考になれば、望外の幸せでございます。

来月6月16日・17日に恵比寿におきまして、私どもステラグループの総力を結集しまして、『STELLAR LINK展示会2011 Jun』を開催します。

ご多用の折とは存じますが、必ず「行ってよかった」と思っていたただける展示会にいたしますので、ぜひぜひ、ご来場を、よろしくお願い申し上げます。

■編集後記■

3月11日の震災を受け、弊社では中否確認や設備など「防災体制」において改めて策定されました。先月号に引き続き、BCP(事業継続)をご紹介させて頂きましたが、事前対策など、何かのきっかけにして頂ければ幸いです。